# フェイスブックが米国で初めて「安否確認」機能、乱射事件受け

６月１２日、米フェイスブックは、フロリダ州オーランドのナイトクラブで５０人が死亡する銃乱射事件が発生したのを受け、米国で初めて「安否確認」機能を有効にした。写真は同社のロゴ。ベルリンで２月撮影（２０１６年　ロイター／Fabrizio Bensch）

［ニューヨーク　１２日　ロイター］ - 米フェイスブック([FB.O](http://jp.reuters.com/investing/quotes/quote?symbol=FB.O))は１２日、フロリダ州オーランドのナイトクラブで５０人が死亡する銃乱射事件が発生したのを受け、米国で初めて「安否確認」機能を有効にした。

この機能は２０１４年１０月に導入されたもので、災害時や危機下で利用者が自己の安否を伝えるメッセージを拡散できるようになる。

ザッカーバーグ最高経営責任者（ＣＥＯ）は公式アカウントで「今朝、目覚めとともにオーランドの乱射事件発生を知り、ぞっとした。私の思いと祈りは、犠牲者と遺族、ＬＧＢＴ（ レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー）社会とともにある」と述べた。

フェイスブックは、過激派組織[イスラム国](http://jp.reuters.com/news/world/isis)（ＩＳ）によるパリでの同時攻撃時にこの「安否確認」機能を有効にしたが、その前日のベイルート爆弾攻撃時には有効にしなかったことから批判を受け、昨年、より頻繁にこの機能を有効にすると表明していた。